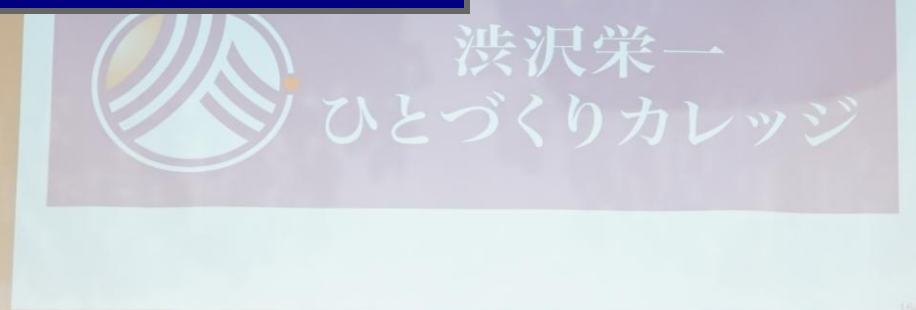


【開催レポート】2025年11月10日(月)

渋沢栄一ひとづくりフォーラム2025



主 催：渋沢栄一ひとづくりカレッジ
(深谷市、東京海上日動火災保険、チエノワ、埼玉新聞社)
後 援：埼玉県、渋沢栄一記念財団、東京商工会議所、深谷商工会議所、
ふかや市商工会、埼玉りそな銀行、武蔵野銀行、埼玉縣信用金庫、
埼玉県商工会議所連合会、埼玉経済同友会、埼玉県商工会連合会、
埼玉県中小企業団体中央会、埼玉県経営者協会 ※順不同・敬称略・法人格省略
会 場：埼玉グランドホテル深谷 3階ダイヤモンドホール (埼玉県深谷市西島町1丁目1-13)

【挨拶】主催者・来賓代表

渋沢栄一ひとりづくりフォーラム2025にご参加いただきありがとうございます。昨年2024年は渋沢栄一翁の一万円札が発行され、日本中が渋沢ブームとなりました。私の目標はこの盛り上がりを一過性にさせないこと。そして渋沢栄一の名前だけでなく、考え方や精神を一人でも多くの方に広げていくことです。地道な活動ではありますが、長野県佐久市ではミュージカル、東京都北区飛鳥山では能、東京都大田区田園調布ではイベントなど、各地で渋沢栄一翁に関する催しが開催され、深谷市長として参加しています。また、深谷市の子どもたちも、様々な自治体の学校と渋沢栄一翁に関するオンライン授業を行っています。すぐに結果が出るわけではありませんが、渋沢栄一翁の考えが広まっているのを実感しています。本日のフォーラムも渋沢栄一翁の考え方が広まるための一つのきっかけになることを願っています。私は本当に運が良い市長であると感じます。渋沢栄一翁のおかげで、多くの方と素晴らしい縁をいただきました。このご縁を広げ、地道にしっかりと取り組みを続けてまいります。本日が皆さまにとって有意義で素晴らしい時間になることを祈念し、挨拶と代えさせていただきます。



埼玉県深谷市
市長
小島 進 氏



本日は多くの方にお集まりいただき、この渋沢栄一ひとりづくりフォーラムが開催されますこと心よりお喜び申し上げます。このプロジェクトは、深谷市小島市長のリーダーシップと、チエノワ田中社長の熱意でスタートしています。そして東京海上日動様、埼玉新聞社様の後押しがあってこそ成り立っています。心より敬意を表します。現在世界では「自国ファースト」の考えにより、格差は顕著になり、紛争も頻発しています。平和主義者であった渋沢栄一翁がこの世界を見たら、深く嘆かれるでしょう。渋沢栄一翁の「道徳経済合一主義」の理念は、今まさに、必要とされている精神です。アメリカでは、「ステークホルダーを大事にした経営」をすべきだという宣言がされましたが、いまだ実現には至っていません。だからこそ、まず日本から変えていきましょう。このフォーラムを大きな足がかりとし、地域社会や国のことを考え、世の中の役に立つ経営を実践していきましょう。より多くの方に渋沢栄一翁の精神を学んでいただき、より良い日本を築きあげる大きな一翼を担っていただくことを祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。本日は誠にありがとうございます。



埼玉りそな銀行
シニアアドバイザー
池田 一義 様



【ご紹介】来賓・司会

- ・公益財団法人 渋沢栄一記念財団 業務執行理事 井上 潤 様
- ・東京商工会議所北支部 会長 越野 充博 様
- ・群馬県下仁田町 教育長 里見 立夫 様
- ・茨城県水戸市 副市長 小田木 健治 様
- ・独立行政法人国立印刷局 理事 鈴木 康晴 様
- ・埼玉県商工会議所連合会 常務理事 澤田 修 様
- ・埼玉県商工会連合会 常務理事 秋葉 淳一 様
- ・埼玉縣信用金庫 地域創生部 副部長 小畑 和幸 様
- ・埼玉県 産業労働政策課 副課長 橋本 直樹 様
- ・津田塾大学 経営企画担当チーフオフィサー 中條 賢二 様
- ・三ツ星ベルト株式会社 上席常務執行役員
東京総務統括部長 下村 徹 様
- ・株式会社サイサン ガスワン埼玉深谷営業所長 鶴田 善昭 様
- ・伊那食品工業株式会社 さいたま営業所所長 原 基樹 様
- ・株式会社渋沢 代表取締役社長 坂本 久 様
- ・株式会社愛鶏園 代表取締役社長 齋藤 拓 様
- ・株式会社埼玉りそな銀行 深谷支店長 篠崎 貴士 様
- ・埼玉信用組合 深谷支店長 平本 寿良 様
- ・株式会社群馬銀行 深谷支店長 萩原 真人 様
- ・株式会社足利銀行 深谷支店長 松村 圭祐 様

- ・株式会社武蔵野銀行 深谷支店長 竹尾 宣保 様
- ・株式会社東和銀行 深谷支店兼深谷南支店
副支店長 佐久間 芳文 様
- ・社会福祉法人深谷市社会福祉協議会
常務理事兼事務局長 大谷 浩二 様
- ・深谷市議会議員 議長 田口 英夫 様
- ・深谷商工会議所 会頭 寺田 喜光 様
- ・ふかや市商工会 会長 沼尻 芳治 様

【司会・進行】



フリーアナウンサー
石田 紗英子

奈良県出身。JALグループ客室乗務員を経て、2005年フリーキャスターに転身。経済番組や情報番組等、様々なメディアにレギュラー出演し、数百人のインタビューを担当。昨今ではマナー・プロトコール検定準1級を取得し、全国の企業・学校での講師活動や子供服のプロデュースにも携わる。一児の母であり、趣味・特技は、歴史散策、ピアノ演奏（絶対音感あり）、インテリアコーディネート。
※奈良県吉野町観光大使、ひかりTV番組審議委員

【参加者数】

150名



株式会社丸沼倉庫
代表取締役社長
須崎 勝茂 氏

【登壇者情報】

1978年、代表取締役に就任。
合計床面積3万坪を超える5棟の倉庫を完成させるなど、業容を拡大。
1985年、若いアーティストの支援を目的に、自身が所有する土地に私財を投じてアトリエを建設し、「丸沼芸術の森」を設立。芸術作品を収集し、その結実を復興への思いを込めて展覧会に貸与し、鑑賞の機会を設けている。
また、コロナ禍で尽力している医療機関や福祉施設などを支援するため、朝霞市に救急車等を寄附。能登の震災ではトイレトレーラーを派遣のほか、被災地支援として珠洲焼存続の一助となるべく陶芸機材を寄附するなど社会貢献にも注力している。

○祖父から教わった会社経営の基本「一源三流」と陽明学の教え

25歳で実家の家業を継ぎ、経営者となったときに祖父から教えられたのが、**経営で最も大事な「一源三流」**です。「一源三流」とは誠実さを源とし、国のため血を流せるか、友のために涙を流せるか、家族のために汗を流せるかという考え方です。「自分が犠牲になっても、社会や家族に貢献できるか」を経営する上で常に心に留めてます。

そして**もう一つ教わったのが陽明学の「知行合一」**です。これはいくら知識があっても実行しなければ、知らないのと同じであり、まずやってみることが重要だということです。失敗しても命を取られるわけではないので「やったらいいんだ」という精神を常に持ち続けるように教わりました。

○若手支援と「運」を引き寄せる理由

祖父は定年後の人生のために良い趣味を持つことの大切さも教えてくれました。趣味を通して様々な人と出会うことができると教わり、私が選んだのは陶芸でした。陶芸を独学で続けていた頃、活動の場がない若手芸術家と出会い、土地を提供しました。すると若手芸術家はその土地にプレパブのアトリエを建て、そこに芸術家の友達が集まるようになりました。その中に当時は無名だった村上隆もいて、**彼の目を輝かせ、夢を語る姿にとっても感銘を受けました**。皆さんは自分の夢を忘れていませんか。夢のない人はいません。村上隆との出会いは夢を語る大切さを気付かせてくれました。

また世界的な画家であるアンドリュー・ワイエス氏の作品もコレクションしています。私は「日本人はワイエス氏の絵を見ることで、心が安らぐ。だからお金を出して作品を預かりたい。」という思いがあり、それを本人に伝えるところから交流が始まりました。**若手や後世のためにコレクションを公開し、支援を続けることが私の使命だと考えています**。

私の運が良いのは人に恵まれているからです。社会や若手支援で人に恩返しすることで、人とのつながりが生まれ、結果的に運を引き寄せることにつながっています。

○子どもたちへ残すべき環境の創造

私は経営者として常に社会貢献を考えています。特に、**未来を担う子どもたちのために何を残せるか**が大きなテーマです。**私が最も大事だと思うのは「環境」**です。文化や芸術の根付いていないところには良い環境は育たず、人も育ちません。**「住んでいて良かったと思える環境」**を自ら作り出す必要があります。私はその集大成として地元のまちづくりに取り組んでいます。これから先もどのような形で地域に貢献できるかを考え続けて歩んでまいります。



株式会社八天堂
代表取締役社長
森光 孝雅 氏

【登壇者情報】

1997年、社長に就任。

2008年、冷やして食べる「くりむパン」を開発。スイーツパンという新たなジャンルを確立したことで、パンの手土産市場という需要を生み出し、現在は1日約3~6万個を製造。

企業経営の目的を「人づくり」とし、挑戦したうえでの失敗を応援する社風と「品性資本の三方よし経営」を掲げ、社内ベンチャーによる新会社の設立や農業福祉領域の課題解決に努める。

2016年、広島空港前に体験型の食のテーマパーク「八天堂ビレッジ」を開業し、地域活性化に貢献している。

○二つの挫折「社員の退職」と「弟からの資金援助」

26歳で3代目として家業を継ぎました。当時は「日本一のパン屋になる」という夢があり、13店舗まで事業を拡大することが出来ました。しかし、**経営の勉強を全くしておらず、親の忠告にも耳を傾けていなかったため、バブル崩壊で赤字に転落しました。**その中で二つの大きな挫折を経験しました。

一つは、パンが大好きだった社員さんの退職です。長時間労働など劣悪な労働環境で一生懸命働いてくれた社員さんが、心身の不調で出社できなくなり、親御さんから厳しい叱責を受けました。夢を持って入社した社員を裏切る結果となり、「何のために経営をしているのか」と深く自問自答しました。

もう一つは資金繰りです。次々に店舗を閉じる地獄のような状況でメインバンクから「もう融資はできない」と通告されました。そんなどん底の時、栃木でパン屋を営む弟から「これでなんとか乗り越えてほしい」と1,000万円近い支援を受けました。この時はじめて私は家族の偉大さを実感しました。**これまで親の忠告を疎ましく思い、遠ざけていた自分自身の浅はかさと家族に迷惑をかけたことを痛感し、涙が止まりませんでした。**

○価値観の変化「人づくり」経営への転換

当時の銀行担当者に「**あなたからは悲壮感は伝わるが、危機感は全く感じられなかった。**」と指摘されました。危機感は「何があっても現状を打破する気概」、悲壮感は「もうダメだと、ただ思うこと」に気付いたのです。世の中の経営者は常に危機に身を置いているのに対し、私は悲壮感しかありませんでした。このままでは「本当に会社を潰してしまう」と銀行担当者に告げられ、変わらなければならないと強く決意しました。そして、自分を支えてくれた方々への恩を返すために「**人のために生きていく**」と心に誓いました。これまで私は人をただの資源として使っていたことを改め、人は磨くほど輝いていく「資本」という考え方に基づいた経営理念を制定しました。「人づくり」を目的とした「論語と算盤」の経営、すなわち品性や徳を重んじる経営を追求することに転換したのです。

○事業転換と貢献を続ける挑戦

心の底から考え方が変わったことで、行動が変わり、人生が変わっていきました。お客様からの声に耳を傾けるようになり、その中の「こだったパンがほしい」という声にヒントを得て、無添加・地産地消にこだったパンを作るようになりました。このパンをもっと多くの人に届けるために、小売業からスーパーへの卸売業へ業態を変化させたところ、V字回復を達成しました。この成功のベースには、「**応援してもらえる人間になりたい**」という想いがあります。これは渋沢栄一翁の思想にも通じる「与える精神」です。自分がどん底だった時「いつか這い上がって必ず皆さんの役に立つ」と心に決めておりました。これからも**渋沢栄一翁の精神を胸に、常に未来を見据え、業態変化をしていながら、人づくりと社会貢献を追求し続けます。**



伊沢栄一

第一部 論語編



挨拶
伊沢栄一
ひとづくりカレッジ発起人
深谷市市長
小島進氏

深谷市が誇る先人 伊沢栄一翁



来賓代表挨拶
株式会社埼玉りそな銀行
シニアアドバイザー
池田一義 様



「つながり」の力を埼玉から

ひとづくりフォーラム2025

～2025.11.10(月) 14:00～ in 埼玉グランドホテル深谷3階 タイヤモンドホール～

主催：伊沢栄一ひとづくりカレッジ
(深谷市、東京海上日動火災保険(株)、(株)チエリ、(株)埼玉新聞社)



伊沢栄一
ひとづくりカレッジ



司会
フリーアナウンサー
石田あゆみ氏

基調講演①



株式会社大沼倉庫
代表取締役社長
須崎 勝茂氏

道徳と経済は今を生きる経営者に通じる



一源三流

賞与

活動の原点

努力

共感



未来の子どもたちへ
夢あるまちづくり

Ⅲ 少年野球・サッカー大会の
冠スポンサーに



Ⅳ 朝霞市に救急車
起震車を寄贈

Ⅴ 朝霞市まちづくり構想

村上隆

世界3本指に入る
アーティストになる!

支援を続け夢を
語ふと叶わさる

須崎社長

基調講演②



株式会社11天堂
代表取締役社長
森光 孝雅氏

逆境
↓
再生
↓
現在

本当に大切に
したいものは何か?

逆境が会社と人を
強く、成長する文化に

大切な社員の時給

1日2時間
週休1日

突然
欠勤に

うちの娘は
何で夢を!!

厳しい資金繰り

金融機関

借金

家族に
迷惑をかけた...

弟から
200万円

信じてるから
周囲の支援

人は資源ではなく「資本」

経営理念「事業の目的は社会貢献と利益。事業の本は人あり、良品良人良会社あり」

渋沢栄一ひとりづくりカレッジ



深谷市
渋沢栄一政策
推進課長
塚越 稔 氏



株式会社チエノ
代表取締役社長
田中 雅也 氏

渋沢MIX(埼玉県)



埼玉県
産業労働部
産業支援課 課長
島田 徹 氏



渋沢MIX
チーフコミュニ
ティー
マネージャー
星野 邦敏 氏

ラボたま(埼玉りそな銀行)



株式会社地域デザイン
ラボさいたま
代表取締役社長
園田 孝文 氏



株式会社地域デザイン
ラボさいたま
りそなコエドテラス館長
森 直人 氏

【第二部：算盤編】シンポジウム～埼玉県内の活動報告～



渋谷栄一 ひとづくりカレッジ

小島市長をはじめ、多くの方のお力を合本しこれまで5年間取り組んでまいりました。当初はコロナ禍の閉塞感の中で、渋谷栄一翁の挑戦、「ひとづくり」の観点こそ、一点突破の道になると感じました。主要な活動として、渋谷栄一翁にゆかりのある方、渋谷栄一賞受賞者やWBCの栗山監督など、著名な実業家・リーダーに登壇いただくフォーラムを継続的に開催してまいりました。これまで1,000名を超える皆さまにご参加いただきました。また、伊那食品工業や赤城乳業といった渋谷栄一翁の考えを体現している企業の知恵を直接聞きにいく「ジカギキ」や、子ども向けに「おしごとフェスタ」を実施するなど、体験型学習と地域貢献にも注力しました。さらに、短期集中で学び合う「ひとづくりラボ」を創設し、参加企業間での自然なコラボレーションを生み出しています。私たちは、活動の最終ゴールを渋谷栄一翁生誕200周年となる2040年に設定しており、今後も埼玉から全国、そして世界へと、その精神と取り組みを広げていくことを目指しています。

渋谷MIX (埼玉県)

渋谷MIXは2025年の7月にさいたま新都心駅直結のビル内にオープンした施設です。渋谷栄一翁が多くの企業創設に携わり、特に適切な人や企業をマッチングさせることで企業を成功に導いたことにちなみ、人や企業が出会い、つながり、共創することで新たなイノベーションを生み出す場として埼玉県が開設しました。本施設は、「オープンイノベーションの促進」「スタートアップの創出・成長支援」「イノベーション人材の育成」をコンセプトに掲げています。施設内には、イベントスペース、コワーキングスペース、ミーティングルームなどを備えております。利用者間の交流を促進するコミュニティマネージャー、企業間のマッチングを行う共創コーディネーター、スタートアップを支援するスタートアップアドバイザーの3種の専門人材を配置し、月20回程度イベントを開催しています。原則会員登録制となっており、事業創出を目指すプレイヤー会員、スキルやサービスを提供いただくパートナー会員、金銭的に支援をいただくスポンサー会員の区分を設けています。また、資金調達を支援するため、県内の金融機関、信用保証協会からの出資により「渋谷MIXファンド」を創設しました。その第1号案件は、深谷市のスタートアップ企業(株)レグミンです。今後も埼玉県から様々なイノベーションを生み出していきます。

ラボたま (埼玉りそな銀行)

地域デザインラボさいたまは、埼玉りそな銀行の子会社として2021年10月に設立され、銀行の領域を超えた地域課題の解決を目指しています。ハブ機能を発揮し、産官学金のネットワークを作り、地域の課題解決の取り組みを行っています。まちづくり、観光など多岐に渡る分野で展開しており、活動の核となるのが、昨年2024年5月に川越にオープンしたりそなコエドテラスです。渋谷栄一翁の支援で設立された第八十五国立銀行の建物を活用するプロジェクトからスタートしました。テラスは「地域の未来にプラスする唯一無二の共創拠点」をコンセプトに、埼玉県の産業と暮らしの好循環創出を目指しています。創業支援、地域の食や歴史発信拠点などの機能があり、複合施設として運営しています。1・2階の飲食部門では地産地消のイタリアンを提供し、3階はコワーキングスペースとインキュベーション施設となっており、事業の伴走支援を行っています。テストマーケティングの適性、りそなグループのネットワーク活用、そして渋谷栄一翁が説いた「共創の精神」に基づき、共に事業共創を目指す運営体制で、地域との共栄を目指します。

【第二部：算盤編】シンポジウム～「コラボ」＆「オール埼玉メッセージ」～



渋沢栄一 ひとづくりカレッジ

渋沢栄一翁の精神を広く普及させるため、引き続き「ひとラボ」や「ジカギキ」などは最大限に実施していきます。ラボたまさんとは既に具体的なコラボが決定しております。来年1月にりそなコエドテラスにて、コエドブルワリーの朝霧社長にご講演をしていただきます。また2月には「ジカギキinコエドブルワリー」と題し、実際に工場にお伺いし、社員さんのお話を直接聞き、社風を体感する取り組みを行います。渋沢MIXさんとは、お互い渋沢の名を冠しているため、**渋沢栄一翁に特化した、埼玉県として他県には真似できないような取り組みを推進していければと考えています。**優れたひとづくりを行っている企業が多くある中で、**渋沢栄一賞が毎年3社なのはもったいないと感じています。**渋沢栄一賞の新しい賞を設立し、国内だけでなく、海外の企業をお呼びできないのかなと考えております。また企業の周年を祝う渋沢神社を作れたら面白いのではないのでしょうか。このフォーラムに参加した皆さまは、素晴らしいと感じた点を、ぜひ周りの方々に広くお話しいただきたいです。最終的に、オール埼玉で渋沢栄一翁の精神を広げ、ますます盛り上げていきたいです。

渋沢MIX （埼玉県）

渋沢MIXとしても海外の拠点との連携は考えているところです。今後シンガポールやドイツなど、既に連携を進めている**国々の企業にも渋沢MIXの認知度を高めていきたい**と考えております。また創業100年以上の企業を招く「100年MIX」というものも行っておりますので、そちらでもコラボできることを期待しています。渋沢MIXには、カフェも併設しており、アルコール提供も視野に入れ、コエドブルワリーの協同商事様とのコラボもぜひ検討させていただきたいです。渋沢MIXは、**施設単体で機能するだけでなく、他の支援機関、金融機関、研究機関などと連携することで力を発揮できると考えています。**渋沢MIXがハブとなり、本日お越しのラボたまさん、ひとづくりカレッジさんや他の自治体など、県内各地と結びつくことで、オール埼玉でのイノベーションを起こしていきたいです。ご興味のある方には、ぜひ積極的にお問い合わせください。

ラボたま （埼玉りそな銀行）

コエドテラスは川越という外国人観光客の方が訪れる場所にあるため、埼玉県の物産観光協会とも連携し、海外への商材の売り込みを強化していきたいという話も出ています。**この3団体で機能連携ができれば、国際的な展開機会を提供できるのではないかと**感じました。起業家の方と話していると、支援を求め各地を移動し、様々なインキュベーション施設を利用していることが分かりました。そのため、プロダクトアウトではなく起業家の目線に立ち、**足りないところを埼玉県で一丸となって補完していくような座組み**を作っていくことが重要であると考えています。企業に最適なサポートが提供できるよう、オール埼玉での連携体制を築いてまいります。

【第二部】グラフィックレコーディング②

第一部 パネリスト紹介

栄一とづくりカレッジ



株式会社于エワ
代表取締役社長
田中 雅也



栄谷市
栄一政策推進課長
堀越 稔 氏

栄一MIX (埼玉県)



埼玉県産業労働部
産業支援課 課長
島田 徹 氏



栄一MIX
テーマコミュニティマネージャー
星野 邦敏 氏

うぶたま (埼玉県銀行)



株式会社于エワうぶたま
代表取締役社長
園田 孝文 氏



株式会社于エワうぶたま
リネエコエドテラス館長
森 直人 氏



本気で「うとづくり」に挑戦する同志が集い、その輪を全国から世界へ未来へと繋ぐイノベーションプラットフォーム

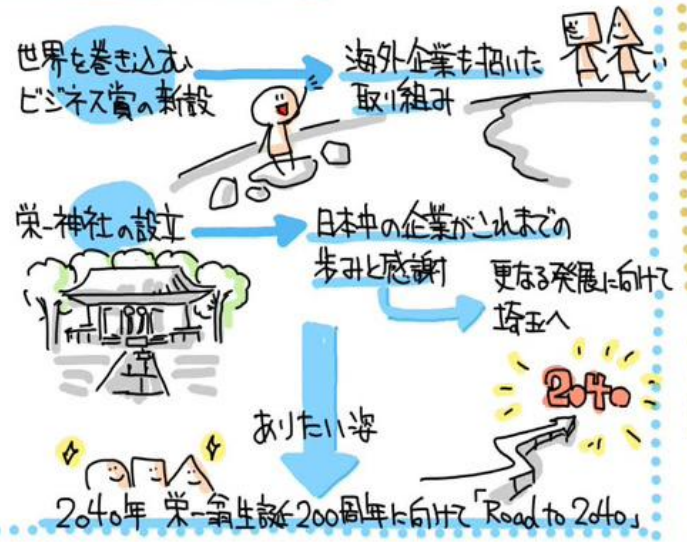


埼玉県が2025年に開設したイノベーション創出拠点。人々が出会い、つながることによって新たなイノベーション創出を目指す



複雑化する地域の困りごとを于エワで思考を捉え、「広く、深く、長く」地域の発展に貢献する会社

コラボレーションの可能性



「ホム埼玉」に向けて

栄一MIX

企業・自治体の「ハブ」として埼玉をつなげたい

うぶたま

企業家目線の取り組みを！埼玉県内で補おう

うとづくりカレッジ

素晴らしい取り組みを周囲の人に伝えて参加者を増やしたい！

総括



株式会社埼玉新聞社
代表取締役社長
関根 正昌 氏

今日限りで終らせず参加者が継続的に会え続ける場が重要

できる事がはじめる

今日が既に最初の場合

【総括】主催代表

長時間にわたるフォーラムでしたが、時間を忘れる内容だったと思います。

第一部の須崎様、森光様のご講演は大変感動的な内容でした。お二人のご講演に共通していたのは、やっぱり「人」という考えが経営の根幹にあることです。さらに「利他」や「社会貢献」にも情熱を注いでいました。またお二人から「運」という言葉が出ましたので、運の話を少し共有させていただきます。ある科学の実験で、1,000人に宝くじを買ってもらう前に、自分は「運が良い」「運が悪い」「どちらでもない」のどれに当てはまるかを聞き、その後当選確率を調査しました。結果はどの人も確率は全く同じでした。つまり運は皆に公平というわけです。しかしなぜ運が良い人がいるように感じるのか。それは人の行動パターンの五つの性質の内、二つにヒントがあります。「外向性」と「開放性」です。別の実験では参加者に新聞を10分読ませた後に「写真は何枚ありましたか？」と質問をしました。質問にすぐに答えられた人は運を掴める人です。実はその新聞の中の見出しに写真の数が書かれているという仕掛けがありました。視野に入った情報を読み取る「外向性」とその情報をもとに質問に答えられる「開放性」が運を掴むためのポイントなのです。結論として、**公平なチャンスは誰にでも訪れますが、それを活かすためには、広い視野と挑む積極性が必要**であるということです。

第二部では渋沢MIX、ラボたま、ひとづくりカレッジの熱い議論が交わされていました。議論の中では世界にも目を向けており、今後の各プロジェクトの活躍が非常に楽しみです。皆さまぜひ深谷以外に、さいたま新都心、川越にも足を運んでください。新たなつながりが生まれるかもしれません。運を掴むためには、登壇者のようにチャレンジする気持ちが大切です。本日のフォーラムをきっかけにご登壇、来賓の皆さまに新たなつながりが生まれ、取り組みが広がることを祈念しています。



株式会社埼玉新聞社
代表取締役社長
関根 正昌 氏



【メッセージ】懇親会参加者①



深谷市長
小島 進 氏

皆さま、長時間お疲れ様でした。最前列で皆さまの素晴らしいお話を聞かせていただき、大変感謝しております。今日のフォーラムを通じて様々な交流や化学反応が生まれたことが嬉しいです。また皆さまと素晴らしい時間を共にし、新たな取り組みにつながることを期待しています。本日はありがとうございました。



株式会社丸沼倉庫
代表取締役社長
須崎 勝茂 氏

本日はありがとうございました。渋沢栄一賞という素晴らしい賞をいただき、このような光栄な場に立たせていただいたことに深く感謝しております。皆さまのお話も聞かせていただき、本当に勉強になりました。私が今日ここに立てるのは生みの親、育ての親の教えを守り、「一源三流」を心に刻んだからこそです。この賞に恥じないようにこれからも歩んでいきたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。



株式会社八天堂
代表取締役社長
森光 孝雅 氏

本日は渋沢栄一翁ゆかりの地にお招きいただき、感謝申し上げます。私自身20年以上前から家庭内で渋沢栄一翁の話を繰り返し語ってきました。その結果、娘は渋沢栄一翁の名が残る唯一の企業である澁澤倉庫に就職いたしました。非常に親孝行してくれたなと感じ、気づかぬうちに、私の思いが娘に伝わり、嬉しく思っております。こういった思いはまさに「不易」です。「不易」の思いを持ち、皆さまとアライアンスを組み、共に活動していくことが、より良き未来を築き上げていくことだと確信いたしました。



渋沢MIX
チーフコミュニティマネージャー
星野 邦敏 氏

今回の登壇を通じて、深谷市が非常に盛り上がっており、起業する人も多いと感じました。渋沢MIXでは埼玉県のエノベーション創出拠点として、今後様々な連携を進めていきたいと考えています。渋沢MIXの掲げるコンセプト「出会い・つながり・共創する」を実現するため埼玉県内にある共創空間施設をつなぎ、県全体で各自治体の取り組みを連携させていけるような役割を担っていきます。



株式会社地域デザインラボさいたま
代表取締役社長
園田 孝文 氏

本日のフォーラムを通じて深谷市は渋沢栄一翁の精神が息づく地域であること、そして登壇者や関係者の皆さまの熱量が非常に高いことをリアルに体感できました。コエドテラスのコンセプトである「歴史を大事にし、未来につなげる」を軸に、川越と深谷それぞれの地域の持つ強みを未来につなげる共創ができればと考えております。今後、さらに様々な地域で創業の機運を高め、そこから世界に飛び立つ企業家の姿が具現化するような世界を築き上げたいです。



公益財団法人 渋沢栄一記念財団
業務執行理事
井上 潤 様

長時間にわたるフォーラムへのご参加、誠に疲れ様でした。第1部の須崎様、森光様のお話は、先を見る目、夢、そして志の重要性を感じました。渋沢栄一翁は、事業推進には「絶大なる忍耐力」が不可欠だと説いており、お二人の講演はその教えを深く感じさせるものでした。第2部では、この埼玉から渋沢栄一翁の精神が世界に向けて広がろうとしていることを強く感じました。本日お集まりの皆さまが渋沢栄一翁の名のもとに心を一つにし、更なる発展を目指すことを心より祈念いたします。



東京商工会議所北支部
会長
越野 充博 様

明日11月11日は渋沢栄一翁の命日であり、渋沢栄一翁を中心とした様々なイベントが各地で行われます。東京商工会議所でも、小島市長や商工会議所の方々をお招きし、恒例の会合があります。新札発行が決まった2019年以來のご縁として素晴らしいつながりができてきました。全て渋沢栄一翁のおかげとしか言いようがありません。2040年の渋沢栄一翁生誕200周年を一つの大きな目標として、今後もこの良い関係を続けていきたいと願っています。



深谷商工会議所
副会頭
大久保 勝令 様

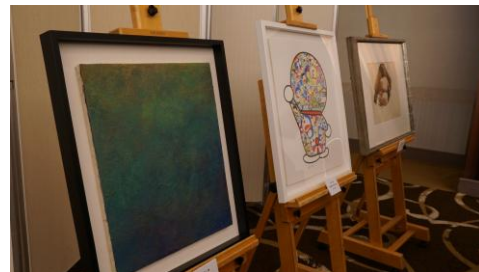
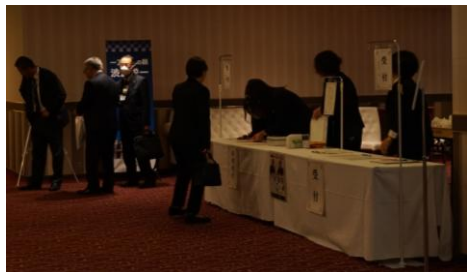
開催地である深谷市を代表し、遠方からお越しいただいた皆さま、ご登壇者の皆様に改めて御礼申し上げます。先日、市で開催された産業祭を通じて、人のネットワークの力を強く感じました。これは、今日のひとづくりのテーマにも通じるものです。昨年2024年新紙幣が発行され、やっと時代が渋沢栄一翁の精神に追いついてきたと感じます。ひとづくりは永遠のテーマであり、皆さまのお話を伺いながら、これからも自分自身を高めてまいります。



ふかや市商工会
会長
沼尻 芳治 様

中小企業の経営者にとって、地域が発展することが最も重要です。深谷市も年々発展してきておりますが、これも小島市長の熱心な指導と、意見交換の成果だと認識しております。地域企業が伸び、地域全体が発展していくことが何よりも大切です。今後小島市長には、長く市政を担っていただきますようお願い申し上げます。

【当日の様様】写真一覧



【アンケート】参加者の声

Q：ひとづくりフォーラムに参加して、気づきや学び等、率直な感想をお願い致します。

・地域への貢献、子供、次世代を育てるひとづくりが重要と考えます。企業を起こしての苦労話など伺えて、事業で大切なのはひとづくりであることを考える良い機会になりました！

・経営のみならず、ひとづくり、社会貢献について大変勉強になりました。今後の取り組みの参考にしていきたいと思います！

・人の縁を大切に自社だけではなく広く社会の目線を忘れずにこれからも学び続けていきたいと思います！

・成功した話だけではなく、失敗談も聞け、大変共感出来ました！色々な考え方や思想があると思いますが乗り越えた実体験をもっと聞きたいと思いました！

・自分の為だけでは何も成しえない。社員の為、お客様の為、利益は未来の為の信条にたどりついたところに共感しました！

Q：本日のフォーラムはご満足いただけましたか？（第一部論語編）

1.大変満足	61%
2. 満足	32%
3.どちらともいえない	7%

Q：本日のフォーラムはご満足いただけましたか？（第二部算盤編）

1.大変満足	49%
2. 満足	41%
3.どちらともいえない	10%

Q：「渋沢栄一」の精神」を胸に挑戦してきた企業の知恵を定期的に学びたいと思いますか？

1.学びたい	100%
2.学びたくない	0%

Q：「学びたい」を選択頂いた方へ、どんなテーマでの本音や裏側を学び、実行していきたいですか？（複数回答）

☐ ひとづくり	86%	☐ 商品開発	6%
☐ 地域との共存（社会貢献）	22%	☐ 現地見学	15%
☐ 失敗談	22%	☐ 事業継承	9%
☐ 成功哲学	15%		
☐ 危機管理	20%		
☐ 福祉経営	11%		

「渋沢栄一ひとづくりカレッジ」

～道徳と経済を両立させた実践エッセンスを学び、未来へ繋ぐイノベーション・プラットフォーム(ひとづくり&未来づくり)～

約500社の企業に携わり、「近代日本経済の父」と呼ばれる実業家であるものの、
渋沢栄一の中心は“ひとづくり” (主にビジネス教育 & 人材育成面での多大な貢献)にある。
その真髓を体現する方々の知恵を学び、未来を切り拓く人財へ導く社会人カレッジを埼玉県深谷市に築く。

2020年11月11日 3者包括連携協定
(深谷市、東京海上日動、チエノワ)

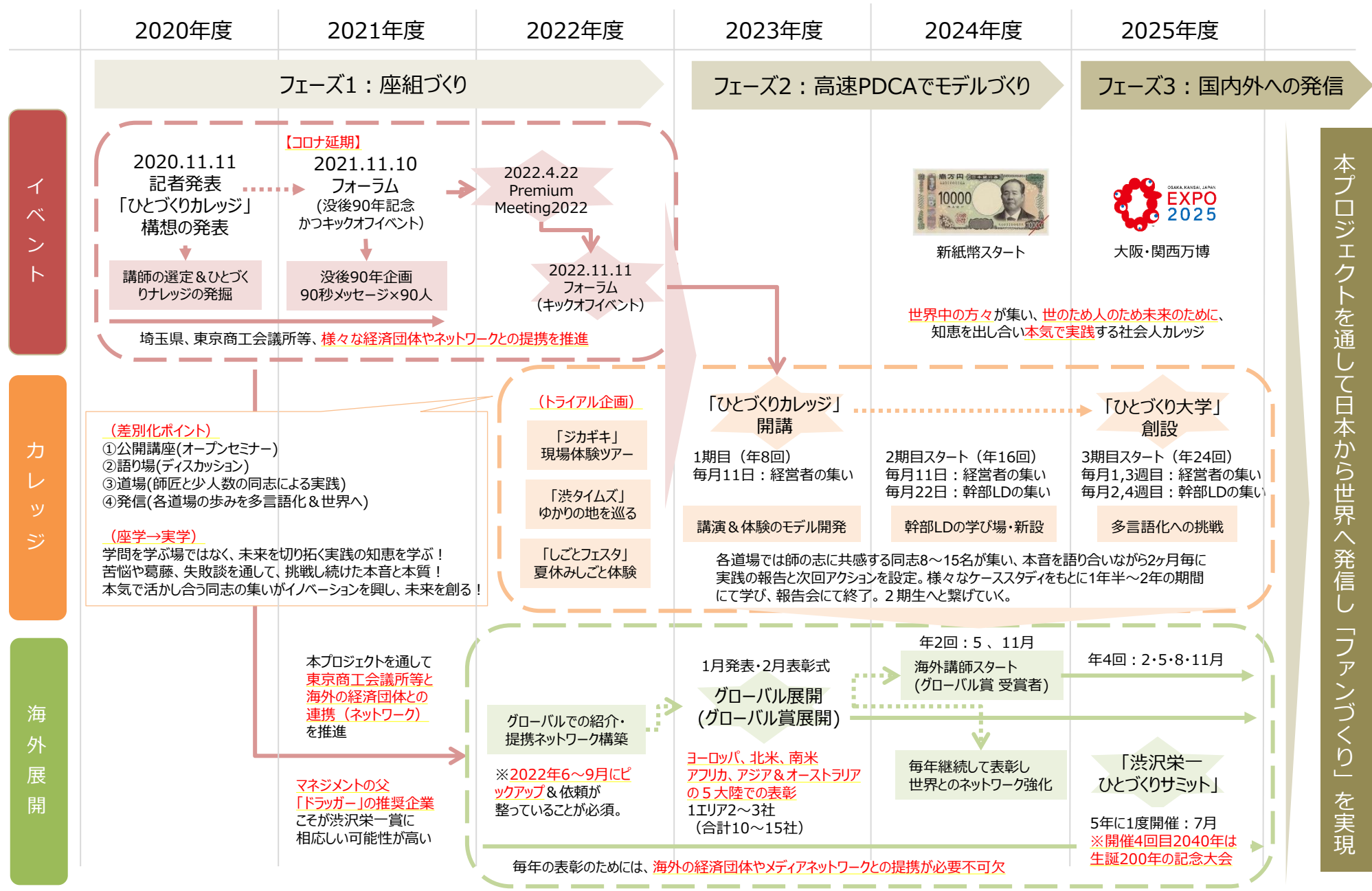


2022年3月16日 4者包括連携協定
(深谷市、東京海上日動、チエノワ、埼玉新聞社)



深谷市・東京海上日動・チエノワ・埼玉新聞社を軸に、ご縁ある皆様にお力添えを賜り本プロジェクトを推進。

【ひとづくりカレッジ概要】5か年計画



本プロジェクトを通して日本から世界へ発信し「ファンづくり」を実現



※過去開催実績

#01 渋タイムズ：5/21(土)水戸徳川ツアー

#02 渋タイムズ：6/29(水)東京都中央区長との面談

#03 渋タイムズ：6/29(水)いざ静岡（駿府）へ

渋沢栄一翁の顕彰かつ、ひとづくりカレッジプロジェクトの推進のために、埼玉県深谷市の小島市長を中心とした「渋沢栄一ひとづくりカレッジメンバー」が、日本全国の渋沢栄一翁ゆかりの企業や団体と対話する企画。



～現場で現物を体験し、現実を学ぶ～



※過去開催実績

- Vol.1：伊那食品工業（2022年8月）
- Vol.2：赤城乳業（2023年1月）
- Vol.3：サイボク（2023年7月）
- Vol.4：RDC（2024年5月）
- Vol.5：赤城乳業（2024年9月）

「ジカギキ」とは、直に聞き合う（語り合う）ことを目的とした学びの体験ツアー。直接、現場で現物を体験しながら、現実を学び、語り合う中で知恵を深める企画。

《 Vol.1：伊那食品工業》

▽埼玉新聞社掲載記事



開催レポート▷

《 Vol.2：赤城乳業》

▽埼玉新聞社掲載記事



▽開催レポート



《 Vol.3：サイボク》

▽埼玉新聞社掲載記事



開催レポート▷

【ひとづくりカレッジ概要】ひとラボ

次回開催：2026年1月23日(金)

ひとづくりラボ in COEDBLUARY

全2回シリーズ

経営者×管理職×若手社員による 智力工夫の交換(場づくり)

智力工夫の交換とは、人材育成の課題発見&解決のための研究所。
経営者や経営幹部だけではなく、若手からリーダー・マネージャーを含め、企業間における【タテ・ヨコ・ナナメ】の人間関係を築くこと。これらを通して、「(栄一翁)学問は一種の経験であり、経験はまた一種の学問である。」の如く座学と実学の両面に挑戦し、「(栄一翁)どんなに勉強し、勤勉であっても上手いかならないこともある。これは機がまだ熟していないからであるから、ますます自らを鼓舞して耐えなければならない。」の如くに苦難にも挑戦していく**勇気と仲間を得ることを目的とする。**

第1回
開催日 2026年1/23 時間 14:00 講義 集合
りそなコエドナラス
(埼玉県川越市中央4-1)

講師紹介

株式会社協同商事コエドブルワリー
代表取締役社長
朝霧 重治氏

1997年、本学商学部卒。学生時代にはバックパッカーとして、アジアや欧州などを巡る。新卒で入社した三菱重工業を1年余りで退職し、現在の妻の父が経営する協同商事へ。ビール事業に携わり、2003年に副社長に就任。06年には「COEDO」ブランドを開発する。09年に代表取締役社長。

第2回
開催日 2026年2/6 時間 14:00 講義 集合
コエドブルワリー COEDO
クラフトビール醸造所
(埼玉県東松山市大井 135-2)

工場紹介

2016年9月、緑豊かな自然の中で醸造一歩になったオーストラリアをクラフトビール生産活動のため醸造所を移転。この醸造所は昭和20年代に建てられた美しい建物を改修したもの。

《 Vol.1 : アールディーシー 》

ひとづくりラボ VOL.1-1

株式会社アールディーシー
女性TOPならではの
改革や挑戦とは

2024.4.22 埼玉県 深谷市役所

ひとラボとは？

経営者・管理職・若手社員による智力工夫の交換(場づくり)。
智力工夫の交換とは、人材育成の課題発見&解決のための研究所。
経営者や経営幹部だけではなく、若手からリーダー・マネージャーを含め、企業間における【タテ・ヨコ・ナナメ】の人間関係を築くこと。これらを通して、「(栄一翁)学問は一種の経験であり、経験はまた一種の学問である。」の如く座学と実学の両面に挑戦し、「(栄一翁)どんなに勉強し、勤勉であっても上手いかならないこともある。これは機がまだ熟していないからであるから、ますます自らを鼓舞して耐えなければならない。」の如くに苦難にも挑戦していく**勇気と仲間を得ることを目的とする。**

代表取締役社長 大島 敬厚 様

久志 京子 様

《 Vol.2 : アールディーシー 》

ひとづくりラボ VOL.1-2

株式会社アールディーシー
未来を切り拓く
経営戦略とは

2024.5.17 埼玉県 熊谷市

ひとラボとは？

経営者・管理職・若手社員による智力工夫の交換(場づくり)。
智力工夫の交換とは、人材育成の課題発見&解決のための研究所。
経営者や経営幹部だけではなく、若手からリーダー・マネージャーを含め、企業間における【タテ・ヨコ・ナナメ】の人間関係を築くこと。これらを通して、「(栄一翁)学問は一種の経験であり、経験はまた一種の学問である。」の如く座学と実学の両面に挑戦し、「(栄一翁)どんなに勉強し、勤勉であっても上手いかならないこともある。これは機がまだ熟していないからであるから、ますます自らを鼓舞して耐えなければならない。」の如くに苦難にも挑戦していく**勇気と仲間を得ることを目的とする。**

代表取締役 CFO 森 裕明 様

《 Vol.3 : デリモ 》

ひとづくりラボ VOL.1-3

株式会社デリモ
人財育成を加速させる
新の“共育”とは

2024.6.21 埼玉県 深谷商業高等学校「二階校」

ひとラボとは？

経営者・管理職・若手社員による智力工夫の交換(場づくり)。
智力工夫の交換とは、人材育成の課題発見&解決のための研究所。
経営者や経営幹部だけではなく、若手からリーダー・マネージャーを含め、企業間における【タテ・ヨコ・ナナメ】の人間関係を築くこと。これらを通して、「(栄一翁)学問は一種の経験であり、経験はまた一種の学問である。」の如く座学と実学の両面に挑戦し、「(栄一翁)どんなに勉強し、勤勉であっても上手いかならないこともある。これは機がまだ熟していないからであるから、ますます自らを鼓舞して耐えなければならない。」の如くに苦難にも挑戦していく**勇気と仲間を得ることを目的とする。**

代表取締役 長田 美穂子 様

《 Vol.4 : 古郡建設・石坂産業 》

ひとづくりラボ VOL.1-4

古郡建設株式会社 × 石坂産業株式会社
地域貢献と人財育成
両立の秘訣とは

2024.7.11 埼玉県 深谷商業高等学校「二階校」

ひとラボとは？

経営者・管理職・若手社員による智力工夫の交換(場づくり)。
智力工夫の交換とは、人材育成の課題発見&解決のための研究所。
経営者や経営幹部だけではなく、若手からリーダー・マネージャーを含め、企業間における【タテ・ヨコ・ナナメ】の人間関係を築くこと。これらを通して、「(栄一翁)学問は一種の経験であり、経験はまた一種の学問である。」の如く座学と実学の両面に挑戦し、「(栄一翁)どんなに勉強し、勤勉であっても上手いかならないこともある。これは機がまだ熟していないからであるから、ますます自らを鼓舞して耐えなければならない。」の如くに苦難にも挑戦していく**勇気と仲間を得ることを目的とする。**

代表取締役 石坂 知子 様

代表取締役 古郡 栄一 様

経営者×管理職×若手社員による智力工夫の交換(場づくり)
智力工夫の交換とは、人材育成の課題発見&解決のための
研究所。経営者や経営幹部だけではなく、若手からリーダー・マネージャーを含め、企業間における【タテ・ヨコ・ナナメ】の人間関係を築くこと。これらを通して、「(栄一翁)学問は一種の経験であり、経験はまた一種の学問である。」の如く座学と実学の両面に挑戦し、「(栄一翁)どんなに勉強し、勤勉であっても上手いかならないこともある。これは機がまだ熟していないからであるから、ますます自らを鼓舞して耐えなければならない。」の如くに苦難にも挑戦していく**勇気と仲間を得ることを目的として開催する。**

夏休み特別企画「深谷版キッザニア」

渋沢栄一 × ふかや

おしごと

フェスタ 2025

20th
FUKAYA
深谷市誕生20周年

2022年8月、2023年8月、2024年2月、2025年8月

イベント内でのみ使用可能な通貨「藍(あい)」がもらえる「おしごとメニュー」や、「藍」が使えるエリア「藍(アイ)ランド」を通じて経済の仕組みを学ぶ。

